

衆議院内閣委員会ニュース

【第219回国会】令和7年12月10日（水）、第6回の委員会が開かれました。

1 公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件（人事院勧告）

・松本国務大臣、川本人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）橋本慧悟君（立憲）、福田玄君（国民）、吉田宣弘君（公明）、上村英明君（れ新）、塩川鉄也君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

橋本慧悟君（立憲）

（1）人事行政

- ア 人事院が掲げる優秀な人材についての川本人事院総裁の見解
- イ 国家公務員として公平かつ確実に職務を遂行するための能力を適切に認定する必要性
- ウ 公務のプランディングに対する各府省からの具体的な要望内容

（2）官民給与の比較対象企業規模について見直しを行った理由

（3）内閣総理大臣及び国務大臣等の給与の取扱い

- ア 従来の申合せによる返納ではなく、不支給を法律上明文化する理由
- イ 給与の削減額
- ウ 高度な技術・技能を有する専門的な人材の採用への影響の有無
- エ 給与の決定に当たり内閣総理大臣や国務大臣の給与を参照している職
- オ 「当分の間」とされる不支給措置の具体的な期限

（4）超過勤務

- ア 令和5年4月26日の衆議院議院運営委員会理事会における川本人事院総裁の発言
- イ 超過勤務の上限超えの主要因

（5）自営兼業制度の見直し

- ア 新たに可能となる自営兼業として想定されている内容
- イ 利益相反が生じないよう明文化された基準を設ける必要性
- ウ 各府省の判断の相違が生じないよう詳細な制度設計を行う必要性

福田玄君（立憲）

国会法第35条と一般職国家公務員の給与水準

- ア 幹部公務員の給与水準を民間の経営層に見合うレベルまで引き上げる必要性
- イ 国会法第35条が公務員の適正な処遇改善を妨げているとの指摘に対する松本国務大臣の見解
- ウ 同条の改正の議論を政府・与党に働きかける考え方があるか否かについての松本国務大臣の見解

吉田宣弘君（公明）

（1）月100時間等の上限を超える超過勤務の最小化に向けた人事院の取組状況

（2）高い使命感とやりがいを持って働く公務に向けた改革に対する川本人事院総裁の決意

上村英明君（れ新）

非常勤国家公務員

- ア 今回の人事院勧告に新たな措置がほとんどないとの指摘に対する川本人事院総裁の見解
- イ 人事院において新たにルールを設け非常勤国家公務員の採用を規制する必要性

塩川鉄也君（共産）

第二種初任給調整手当関係

- ア 国家公務員の高卒初任給が最低賃金を下回る状況が生じたことについての川本人事院総裁の見解
- イ 民間では違法となる最低賃金を下回る給与水準を人事院が許容することの妥当性
- ウ 生計費原則にのっとった大幅な月例給改善の必要性

2 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第5号）

特別職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第6号）

- ・松本国務大臣から趣旨の説明を聴取しました。